

# とみおかまち



# vol.12

[発行日]  
2020年2月7日



福島県  
富岡町

# 支援員だより

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

お困り事など、どうぞお気軽に！  
ご連絡待っているっぴ



TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL tomioka\_saitama@eos.ocn.ne.jp

## えびす講市 応援ツアー

福島支援バスえびす講市ツアーには、首都圏に避難されている方たちと総勢28名が参加。今回は11月9日・10日の日程でかながわ避難者と共にあゆむ会と支援拠点事務所の共催で開催いたしました。

雲一つない澄みきった青空の下、バスは横浜駅を出発し、東京駅・さいたま新都心駅と廻り、富岡町へ向かいました。初日は富岡町の現在の様子を車窓から見学しました。富岡漁港は岸壁や防波堤がきれいになり、漁業活動が再開された港内には、漁船も見られました。震災で崩れてしまった富岡町のシンボルと言える“ろうそく岩”が心なしか寂しそうな印象でした。

Jヴィレッジホテルにて疲れを癒し、翌日もまた爽やかな日差しの中を、えびす講市へ向かいました。途中で木戸川鮭築場へ寄って散策しました。台風19号の影響で川は築が壊され、ガレキがあり、濁っていました。とてもこの状況では鮭もいないだろうと期待はしていませんでしたがなんと、鮭が遡上しているではありませんか！水流に負けまいと泳いでいる姿に感動しました。

そして、いよいよえびす講市会場である富岡第一小学校に到着。たくさんの飲食ブースがあり、振る舞い餅もあり、懐かしいふるさと“富岡町”がそこにありました。ステージの上では、富岡町小・中学校の校歌が同郷の方同士と一緒に歌われ、イベントが盛り上がっていました。その後、福祉まつりでは小中学生作品展や、富岡町歴史館を鑑賞し、久しぶりにふるさとの香りを胸いっぱい吸い込み帰路につきました。

震災で崩れてしまった富岡町のシンボル“ろうそく岩”



Jヴィレッジホテル



えびす講市会場



### あづまってしゃべっぺー

## 全員集合！交流会in笠間

秋の気配が色濃く感じられる小春日和の11月13日、双葉郡4町出身・茨城県在住の皆さん「全員集合！交流会in笠間」あづまってしゃべっぺーが開催されました。

一般社団法人ふうあいねっと(東日本大震災・原発事故の影響により茨城県に避難されている方々の暮らしや交流をサポートしている)主催、浪江町・大熊町・双葉町・富岡町の支援事務所共催での開催でした。

双葉郡内の町を超えた交流を、町民参加者31名、関係スタッフ21名の参加で、午前は「笠間陶芸の丘 クラフトヒルズkasama」にて、陶芸体験、自由に形を変える土の魅力に思わずはまってしまったかも・・・！午後からは、「味の店 はらだ」で笠間名産！栗料理を主体とした料理長こだわりの料理をいただき、ビンゴゲームで楽しい時間を過ごしました。

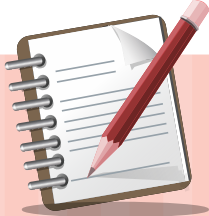


皆さん  
お元気です!



戸別訪問(北海道恵庭市)

現地に行くことで  
福島復興の現状を  
より深く理解することが  
できました。



第11回

## ふるさとコミュニティ in かながわに参加して

ふるさとコミュニティは、毎年行っている東日本大震災ならびに原発事故により避難されている方々を対象としたイベントで、支援員も参加しました。60名の参加のうち、富岡町民は10名の参加がありました。また、町役場からマイナンバーカード申請の巡回受付があり、数名が登録されました。

イベントの内容はかんたんヨーガ療法、もの作りコーナーの水引き、お笑いタレントのステージ、民謡など盛沢山でした。また、手作りの昼食や談話スペースでは4町が交じり皆地域の話や知人、避難先の生活の話などで盛り上がり、町民の方々の笑顔が見られて充実した時間を送ることができました。

10月5日  
横浜波止場会館



2019年9月1日(日)~2日(月)

## 浜通りスタディツアー

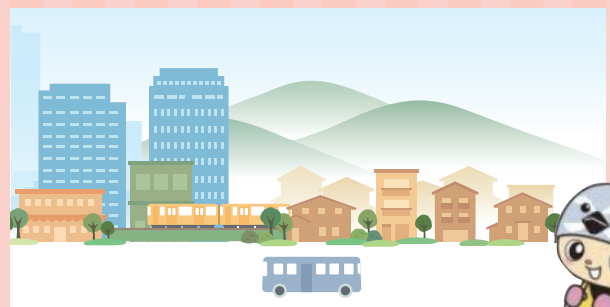
2019年9月1日(日)~2日(月)の浜通りスタディツアーに参加しました。

1日目は、最初に浪江町を訪れ、いこいの村で昼食を取り、町の視察をしました。町の様子は整備されて駅舎もきれいになり、復興を感じましたが裏道に入ると解体されず厨房内が当時のままの飲食店などが見受けられました。次に、アスナロ保育園の視察をしました。再園を進めていた園長先生がお亡くなりになり、保育園再開も難しいようでした。その後、富岡町の東京電力廃炉資料館では廃炉等についての取り組みに関する展示物や映画などを見ました。

2日目は、木戸川鮭築場を見学しました。担当者から説明があり、稚魚を養殖して放流し帰ってきた成魚を収穫する漁を行っている様で、一步一步復興が

進んでいると感じました。楢葉遠隔技術開発センターでは、最新のロボット操作技術を研究する巨大施設内の見学と原子力発電所内部にヴァーチャルリアリティで入ることができる装置の体験をしました。

現地に行き実際に目で見て、耳で聞き、体験することにより福島の復興の現状をより深く理解することができた、よいツアーでした。



こんにちは★富岡町復興支援員です!

### 新任支援員紹介

齊藤 幸久  
(さいとう ゆきひさ)



この度縁あって富岡町の復興支援員となりました齊藤幸久と申します。生まれも育ちも、さいたま市ですが、富岡町の皆様に寄り添い、良き相談相手となれるよう頑張ります。宜しくお願い致します。



皆様の  
良き相談相手と  
なれるよう  
頑張ります。